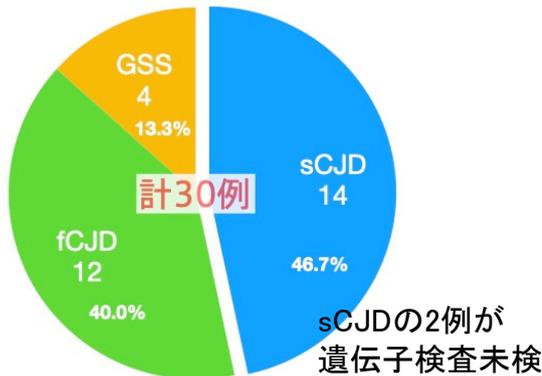


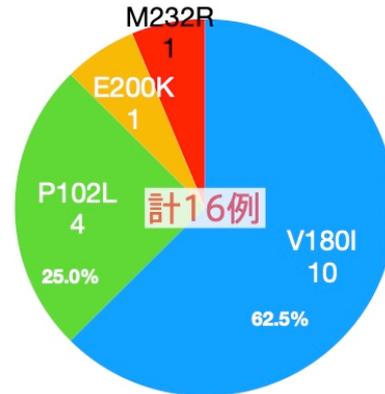
九州・山口・沖縄地区のプリオン病サーベイランス解析結果

研究分担者：九州大学病院神経内科 松下 拓也

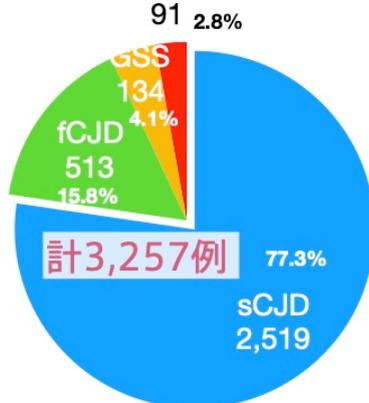
孤発性と遺伝性プリオン病の比率



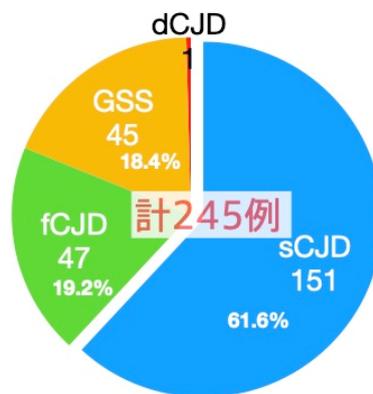
遺伝性プリオン病の遺伝子異常



dCJD 全国の傾向との比較



プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究
平成29年度 総括・分担研究報告書



2012-2018 九州・山口・沖縄ブロック

解説

- 2017年4月から2018年9月までに九州・山口・沖縄地区の54例についてサーベイランスを行った。
- sCJDはほぼ確実例12例、疑い例2例であった。遺伝性プリオン病については家族性CJD12例（V180I変異10例、E200K、M232R変異各1例）、GSS 4例（P102L変異4例）であった。
- GSSを含め、遺伝性プリオン病の頻度が全国と比較して高い傾向が見られた。